＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	信州の病気知らずの家
グループの名称	先進の信州の家を造る会
直近採択グループ番号	06-0482-0391

（グループ代表者）

代表者名	宮坂　源亮　代表者印
代表者所属先	株式会社宮坂建設
代表者所在地	長野県諏訪郡原村12670-1
代表者電話番号	0266-79-2536

（グループ事務局）

事務局事業者名	富国物産株式会社
事務局担当者名	中井　大介　印
事務局郵便番号	381-8602
事務局所在地	長野県長野市大字東和田806
事務局電話番号	026-243-1321
事務局FAX	026-259-3371
事務局担当者E-mail	y-ito@fukoku-net.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	信州の病気知らずの家
２．グループの名称(必須)	先進の信州の家を造る会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0482-0391
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	宮坂　源亮
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社宮坂建設
８．グループ代表者所在地(必須)	長野県諏訪郡原村12670-1
９．グループ代表者電話番号(必須)	0266-79-2536
１０．グループ事務局事業者名(必須)	富国物産株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	中井　大介
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	381-8602
１３．グループ事務局所在地(必須)	長野県長野市大字東和田806
１４．グループ事務局電話番号(必須)	026-243-1321
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	026-259-3371
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	y-ito@fukoku-net.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	7	海外もしくは国の機関の場合念書の取得が困難なことからｸﾞﾙｰﾌﾟ構成員にする事が出来ない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	5	海外もしくは国の機関の場合念書の取得が困難なことからｸﾞﾙｰﾌﾟ構成員にする事が出来ない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	0	施工事業者が自ら設計を行う場合があり、その場合は設計事業者が当該物件に関与しないｹｰｽがある。
Ⅵ．施工	11	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	施工構成員に1戸づつ配分、残りは物件の着工順にて配分する。採択戸数が施工構成員の数に満たなかった場合希望構成員を募り事務局にて配分を決める。配分したものに辞退があった場合には事務局が配分する。

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外もしくは国の機関の場合念書の取得が困難なことからｸﾞﾙｰﾌﾟ構成員にする事が出来ない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
39	Ⅰ － 3	高知県森林組合連合会		783-0055	高知県南国市双葉台7番地1	088-855-7050
33	Ⅰ － 4	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1	0867-42-0602
11	Ⅰ － 5	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森１８１番地	0494-22-2821
23	Ⅰ － 6	株式会社東海木材相互市場		456-0033	愛知県名古屋市熱田区花表町21番地1号	052-881-1551
21	Ⅰ － 7	岐阜県森林組合連合会		500-8356	岐阜県岐阜市六条江東2丁目5番6号	058-275-4890
24	Ⅰ － 8	ウッドピア市売協同組合		515-0088	三重県松阪市木の郷町11番地	0598-20-2211
34	Ⅰ － 25	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目１－１	0823-71-7141
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外もしくは国の機関の場合念書の取得が困難なことからｸﾞﾙｰﾌﾟ構成員にする事が出来ない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
11	Ⅱ － 5	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森１８１番地	0494-22-2821
39	Ⅱ － 9	高知おおとよ製材株式会社		789-0303	高知県長岡郡大豊町川口字川口南2035番地1	0887-70-0020
33	Ⅱ － 10	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
24	Ⅱ － 12	株式会社オオコーチ		515-0063	三重県松阪市大黒田町472	0598-26-1551
34	Ⅱ － 13	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7144
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
23	Ⅲ － 11	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目3番17号	0526-61-1501
20	Ⅲ － 14	富国物産株式会社		381-8602	長野県長野市大字東和田806番地	026-243-1321
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
21	Ⅳ － 1	株式会社アルティー		509-9132	岐阜県中津川市茄子川中垣外1683	0573-68-6780
20	Ⅳ － 2	北信地域材加工事業協同組合		381-0003	長野県長野市穂保中ノ配３４１－１	026-251-3200
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
施工事業者が自ら設計を行う場合があり、その場合は設計事業者が当該物件に関与しないｹｰｽがある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							11	○	○
20	Ⅵ － 15	73991	株式会社宮坂建設		391-0108	長野県諏訪郡原村12670－1	0266-79-2536	○	
20	Ⅵ － 16	74139	神稲建設株式会社		395-0032	長野県飯田市主税町18	0265-59-7011	○	
20	Ⅵ － 17	74174	中部建設工業　株式会社		380-0935	長野県長野市中御所3－13－7	026-226-2151	○	
20	Ⅵ － 18	74085	金子工務店株式会社		394-0082	長野県岡谷市長地御所2－13－8	0266-28-3504	○	
20	Ⅵ － 19	74014	株式会社春間工務店		392-0011	長野県諏訪市赤羽根2－6	0266-52-3025		○
20	Ⅵ － 20	73889	笠井工業株式会社		388-8004	長野県長野市篠ノ井会694－1	026-292-0642	○	
20	Ⅵ － 21	74078	宮下建設工業株式会社		399-3802	長野県上伊那郡中川村片桐4030	0265-88-3034	○	
20	Ⅵ － 22	74021	株式会社信州ハウジング		399-4601	長野県上伊那郡箕輪町中箕輪11377	0265-79-5949	○	
20	Ⅵ － 23	73858	カク山木材建設有限会社		394-0047	長野県岡谷市川岸中2－12－24	0266-22-3074		○
20	Ⅵ － 24	73881	伊東建設株式会社		389-2232	長野県飯山市下木島11-1	0269-62-3447	○	
20	Ⅵ － 26		有限会社久保建設		399-0023	長野県松本市内田3008	0263-57-1975	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
20	Ⅵ － 15	73991	株式会社宮坂建設	6 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 16	74139	神稲建設株式会社	12 戸	12 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
20	Ⅵ － 17	74174	中部建設工業　株式会社	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
20	Ⅵ － 18	74085	金子工務店株式会社	26 戸	25 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 19	74014	株式会社春間工務店	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
20	Ⅵ － 20	73889	笠井工業株式会社	6 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 21	74078	宮下建設工業株式会社	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 22	74021	株式会社信州ハウジング	24 戸	23 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
20	Ⅵ － 23	73858	カク山木材建設有限会社	3 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 24	73881	伊東建設株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
20	Ⅵ － 26		有限会社久保建設	3 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）信州の病気知らずの家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）先進の信州の家を造る会	（結成年）2015 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0482-0391	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長野県は本州のほぼ中央部に位置し、気候は盆地の特色が著しい。夏の最高気温は35℃以上、冬の最低気温はマイナス10℃以下、の両方を記録する地域が多く、夏冬の気温差の激しい厳しい気候である。 その中で快適に住める住宅を計画するには高気密高断熱の仕様が必須となる。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	エネルギー消費性能基準では、当該エリアの多くは4地域。また一部3地域も含んでおり、高い断熱性能を持った住宅が必要。また、冬季は風が非常に強いエリアなので、構造計算時における耐風計算も十分に行う必要がある。 構造躯体は、断熱性能及び耐震性能を確保するのに自由度が高い在来軸木工法を採用する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・奇抜な色彩やデザインを避け、豊かな自然や街並みと調和のとれた美しいデザインを出来る限り採用していく。 ・断熱性能はUa値0．56以下、η値は3．0以下を性能目標とする。 ・夏期の風の取り入れは冷房負荷低減に有効なため、IBEC発行の自立循環型住宅用気象データを利用してプランニングに取り入れる。 ・夏季の日射遮蔽を考慮して、庇を出来る限り取り入れる。	◎
④ ①～③の背景	・当該地域の古くからの住宅は、当地の厳しい気候条件に比較して温熱基本性能が低く、ヒートショックなどで亡くなる人も少なくない。 ・長野県各地の夏季風向きを調べると、多くの地域がその方向に統一性があり、風を取り込む住宅設計を行う上で非常に有効なことがわかった。 ・自然の力を利用する為には、住宅の温熱性能は高く計画する必要があり、高気密高断熱を必須としたい。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・外壁の色は太陽熱の吸収に大きく作用するので、出来る限り白色系の色を使用する。 ・結露対策として、最低限アルミ複合樹脂サッシ、断熱型LOW-Eガラスを標準に使用していく。 ・雨水タンクを出来る限り設置する。但し、冬場の水抜きが不十分で破損する可能性が高いとの指摘があることから、雨水タンクに関してはお施主の希望に沿う形にしたい。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造材のサイズを105mmベースにする。構造計算上必要な場合以外は120mm幅の部材は出来る限り使用しないようにし、合理的な木材の仕様にする。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：各社の差別化があるので見えがかり部分の統一は難しいが、隠れる部分の建材の統一化は性能部材を中心に行っていく。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ構成員が建築する物件の性能を確保するため、性能部材に関しては可能な限り標準仕様通りにする。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造材の調達メーカーはグループ内業者で統一 仕入れは富国物産経由にて概ね統一	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：材料調達を富国物産に統一するので、事務も合理化できる	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：グループの集会で勉強会を主催。外部講師による研修会も適宜実施する。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：各社同一の施工マニュアルを用いて施工する	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：現場検査を第三者に依頼し、結果を事務局と共有する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：各社が共通のCADを用いて図面作成、見積り、積算を実施している。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：主要施工構成員が建材店のイベントに出展して一般顧客にアピールする。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：これを機会に、各社の勤務体制を見直すよう、集会で提案していきたい。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：・技能に応じた給与態勢の検討を行ないたい。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：・把握しきれない点があるが、全社社会保険への加入を推進したい。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：・安全確保の為、集会時に安全に対しての研修会を行ないたい。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		近年、長野県内で地震が相次いでおり、制震装置の導入を推進したい。			○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）信州の病気知らずの家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）先進の信州の家を造る会	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0482-0391	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	■ ない	□ ある →	内容：各社バラバラで過去の物件との整合性を考えると共通化は非常に難しい。	
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：各社がそれぞれ別々の機関を利用している	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない	□ ある →	内容：事務局としては各社の履歴情報を確認することが出来ない	
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：点検計画は各社共通のものを使用している	○
		②-2 補修の共通ルール	■ ない	□ ある →	内容：補修基準及び方法に関しては各社まちまちとなっている	
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検に関しては同一の外部委託先で実施することで進行中。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ集会時に住まいの管理方法研修を実施し、顧客へ指導できるようにする。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：各社のイベント時に住まい管理の相談会を実施する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある →	内容：	
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：顧客への維持管理手法説明のため、勉強会を開催	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：施工構成員の倒産時、建築中の物件についてはグループ内構成員が施工継続するように協力する。継続工事を実施する構成員は事務局が斡旋する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：グループ集会時に勉強会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			定期点検に関しては、グループで同一の外部委託先に対して委託することで進んでいる。 1年目、2年目、5年目、10年目の計4回については同一の外部委託先に委託して定期点検を行なうこととして進めている。			○

エ．グループの技術力の向上

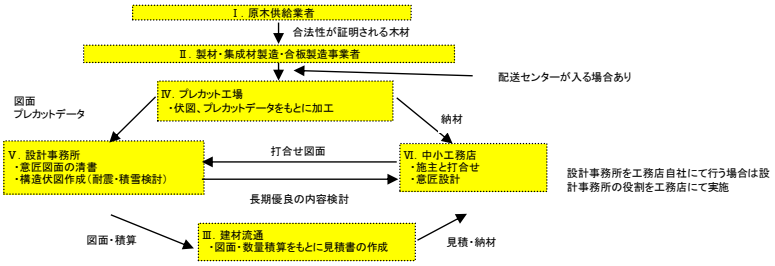
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：高気密・高断熱住宅の施工注意点勉強会を実施。 共同で見学できる現場があれば、その現場で行う。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：外部委託先による現場品質をチェックする	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：施工技術研修会には事務局も参加。品質管理については現場チェックシートを事務局が確認。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：共通のCAD申し込み時に数か月後の必要数量が計算できる。 これをもとに事務局にて作成。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	■ ない	□ ある →	内容：	
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　21		今年度の参加目標人数　3	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：集会時に対象工務店へ参加促進する	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：制震機器の導入に関して勉強会を実施し、標準として導入予定	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			グリーン化事業の他のグループとの技術交流を実施し、相互の技術向上を図る。			○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）信州の病気知らずの家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）先進の信州の家を造る会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0482-0391	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・地域材は、国内産及び海外産の合法木材認証制度の認証をうけた材料を使用する。 ・樹種はスギ、ヒノキ、米松、米松・杉複合集成材とする。米松は輸入材につき原木業者が海外の会社の場合グループ構成員になれないので、念書を提出できない。その場合、原木業者とグループに登録可能な国内のメーカーが森林認証制度等で繋がっており、合法証明に切り替え可能な商品を使用することを条件とする。地域材証明方法は合法木材証明制度とする。 国産の地域材は出来る限り埼玉県産材を使用する。埼玉県産の確認は製材事業者からプレカット工場への納品書にその旨の記載があることを事務局が確認することとする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　プレカット業者を経由して、製材・集成材メーカーに都度確認	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　プレカット業者を経由して、製材・集成材メーカーに都度確認確認し、グループで共有する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　期初に各施工業者にヒアリングし、需要予測を作成	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　リビングの一角に可能な限り畳コーナーを設ける。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	特になし	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし	

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）信州の病気知らずの家	（地域型住宅供給対象地域）長野県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）先進の信州の家を造る会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0482-0391	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

１階平面図

２階平面図

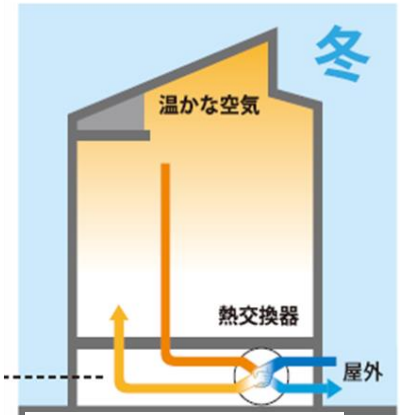
■設計上の工夫（２）

・通風を考慮した内壁、開口の配置により、外気を取り入れやすい工夫をして室内温を下げる。
・窓を出来るだけ高い位置に配置し、廃熱効果も高める。
・軒を深く、又は庇を設け日射侵入を軽減する。
・南面側に落葉樹を配し夏季の日射遮蔽と冬季の日射取得を配慮。
・北面側には常緑樹を配し夏季は蒸散作用による涼風の取り込みを配慮。
・このように設計上の工夫により住み心地を向上させる。

尚、ゼロエネルギー住宅については、BELSを標準とする。

■設計上の工夫（１）
・シンプルな四角形の間取りで外壁面積を少なくし熱損失を抑える。
・2階の標準天井高を出来るだけ2200mmを目処として低めに設定し、気積を少なくし換気による熱損失を抑える。
・サッシは気密性が高いすべり出し窓、縦すべり出し窓を多用する。
・24時間換気は床下設置タイプの熱交換型第一種換気設備を標準採用。
　四季を通じ安定した気温が見込める表層地熱も有効利用。
・断熱材は高い気密性が期待できる現場発泡ウレタンフォームを外壁・天井・屋根下面に採用。

■構造安全性にも万全の配慮
・生産支援CAD「XCAD」により邸別に構造計算（許容応力度計算）を実施する。
・上記の構造計算には太陽光パネルの荷重を加算して実施する。
・耐震等級は最高の等級3を標準とする。



換気設備　：地熱も有効利用

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。